

制振工学研究会の分類コードに基づいた研究動向

○大石 久己 (工学院大)	高田 省一 (都立産技研)	坂場 晃三 (特許機器)
尾崎 雅亮 (神奈川産技総研)	出羽 宏視 (茨城大学)	新田 隆行 (日本特殊塗料)
山口 道征 (ブリヂストン)	佐藤 利和 (松下インターテクノ)	

Trends Based on the Code Table for Society of Damping Technology

Hisami OHISHI (Kogakuin University)	Shoichi TAKADA (Tokyo MITRI)	Kohzo SAKABA (Tokkyokiki Co.)
Masaaki OZAKI (Kanagawa ITRI)	Hiromi DEWA (Ibaraki University)	Takayuki NITTA (Nihon Tokushu Toryo Co.)
Michiyuki YAGAGUCHI (Bridgestone Co.)	Toshikazu SATOH (Matsushita Inter-Techno Co.)	

概要：文献調査分科会では、制振材料に関する文献を分類コードに基づいて分類しており、毎月の通信に「文献情報速報」として No. 40 まで報告している。また、会報 No. 24 で「文献情報」として報告し、No. 25 としてデータの蓄積を継続している。今回はこれらの文献を、研究会の分類コードを用いて整理した結果を報告し、その結果から見えてくる研究動向を紹介する。また、分類コードに対する会員からの意見を伺うことも目的とし、併せて、文献情報の提供の協力をお願いする。

Key Words: キーワード, 研究分野, 制振工学

1. はじめに

制振工学研究会の文献調査分科会では、研究会に関連した文献について調査、情報収集を行い、「文献情報速報」と「文献情報」として会員に報告している。その中で、研究会独自のキーワードと分類コード表により文献を分類し、会員への便を図って来た。しかし、コードが対応できない場合もあり、表 1 に示す案を提案し、試行中である。現在は、「文献情報速報」を No. 40, 「文献情報」を No. 24 までまとめ、No. 25 のデータを蓄積中である。本報告では、文献調査分科会の活動状況の報告として、No. 24 からの文献を分類コードに基づいてまとめた結果を紹介する。

また、分類コードに対する会員の意見を伺うことと、会員からの文献情報の提供もお願い

することを目的としている。

2. 文献分類コード表

従来のキーワードとコード表に修正を加え、表 1 に示す新しいコード表を提案している。データベースなどの検索においては、文献のタイトル・概要中の用語もキーワードとして検索することができ、文献のキーワードもそのまま利用することができる。そのため、表 1 の分類は、本研究会に適した別な視点から文献を分類することを目的とし、以下の方針でキーワード表を検討している。

- (1) 大分類を再検討し、A：材料、B：材料の適用方法・形態、C：特性・性能、D：技術課題・手法、E：応用分野と